令和８年９月 18 日（金）に、雫石町再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例第 13 条第４項に基づく再生可能エネルギー事業届出書の届出がありましたので、同条第５項の規定により、これを公表します。

記

（１）説明会開催日時	令和８年７月 25 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 5 時 20 分
（２）説明会開催場所	陽和郷公民館
（３）事　業　者	株式会社 Looop 代表取締役　中村　創一郎 東京都台東区上野３丁目 24 番６号
（４）設 置 場 所	雫石町中黒沢川 131 番４ 〃　131 番 23 〃　131 番 24 〃　131 番 35 〃　131 番 37 〃　131 番 38 〃　139 番３ 〃　140 番 〃　141 番３ 〃　141 番５
（５）設置しようとする再生可能エネルギーの種類	太陽光発電所
（６）予 定 規 模	事業面積　77,459 ㎡ 発電出力　1,999.9kW
（７）参　加　者	地域住民等１２名、事業者側５名
（８）説 明 内 容	第１回説明会での出席者からの主な意見・質問・要望への回答及び質疑応答
（９）参加者からの主な意見と対応方針公表内容	・別紙事業者報告書のとおり

別紙-1

住民意見
・環境アセスメントは実施されたのか

Looop 回答
・アセスメントの対象の事業ではなく実施していない

住民意見
・計画のパワーコンディショナーの出力は 19,999kW であり、環境アセスメント制度上の第二種事業に該当すると考えられる
・第二種事業であっても、環境への大きな影響が懸念される場合には、環境アセスメントを実施する必要がある
・雫石町の再生可能エネルギーの適正な促進に関する条例も考慮し、環境アセスメントを厳格かつ丁寧に実施することを求めたい
・本計画について、自然環境の破壊・災害の発生・人体への影響・農業への被害・水質汚染のリスクや不安がある
・計画地は再生可能エネルギーの抑制区域に該当する可能性がある
・子どもや孫、将来この地域で暮らす人々の心身の健康や命に関わる重大な問題だと感じている
・住民としては計画の白紙撤回を最も強く求めている

Looop 回答
・環境アセスメントの実施についての質問ということで、間違いないか

住民意見
・環境アセスメント制度を実施してほしい
・計画の白紙撤回してほしい

Looop 回答
・環境アセスメント制度は明確な基準が設けられているため該当するのであれば実施する

住民意見
・環境アセスメントの実施をお願いしたい

Looop 回答
・法令に照らし合わせて実施すべき事業なのか調べ判断します

住民意見
・わからないということか

Looop 回答
・この規模の事業であれば通常環境アセスメントに該当しない認識であります

住民意見
・ありがとうございました

住民意見
・自宅でチョウセンアカシジミを実際に確認した
・動物や昆虫は、地図上の確認地点にだけ生息・移動しているわけではなく、周辺地域を移動する可能性がある
・地図上の確認地点から自宅までの範囲や移動可能性を考えると、計画地もその生息・移動範囲に含まれる可能性がある
・地図上の小さな赤丸だけを根拠に計画地には関係がないと判断するのは適切ではないと考える

Looop 回答
・雫石町に生息が確認された地域が、公式のマップで載っております

住民意見
・公式な確認記録だけでは不十分ではないか、実際の目撃情報も調査に反映すべきではないか。
・発見されてから対策を始めるのではなく、工事前から生息環境を調査・保全する必要があるのではないか。
・生息環境を壊すことへの懸念
・雫石町がチョウセンアカシジミを保護しているのであれば、生息環境そのものをできるだけ変えないことが重要ではないか。
・別の場所に植え替えるだけで、元の生態系や生息環境への影響を十分に補えるのか疑問がある

Looop 回答
・回答書に記載をしているが、この事業用地について雫石町の方に相談をしております、現時点で事業用地では確認されていません
・デワノトネリコの確認ができたので万が一、卵や幼虫を発見の場合は文化財保護法の届けという許可を取る、という明確な指導を受けている

住民意見
・納得できない

住民意見
・チョウセンアカシジミの生態は知っているか

Looop 回答
・存じ上げません

住民意見
・チョウセンアカシジミの生態を知らないのは信用がない

Looop 回答
・チョウセンアカシジミに限らず、多様な動植物がいる
・その上ですべての生態系を把握することは、物理上困難と考えている
・岩手県では、動植物の保全区域のランク付けをＣ及びＤとしていて一概に開発を規制する地域ではない

住民意見
・チョウセンアカシジミについて聞いている
・チョウセンアカシジミの保護措置を取るのであれば、一年を通した生態を把握・確認すべきではないか
・生息状況を十分に確認しないまま工事を始めると不具合が生じる
・調査で確認できなかったとしても、実際にはチョウセンアカシジミが生息している可能性がある

Looop 回答
・着工前の話をしているで合っているか

住民意見
・チョウセンアカシジミの一年間の営みを把握しているかどうか
・トネリコの木がどこにどのような環境を好んで生育するのかも調査しているのか

住民意見
・トネリコはどのような木でどこにどのような環境を好んで生えるのかを調べる必要がある
・トネリコの分布やチョウセンアカシジミの生息状況を、環境アセスメントの中で専門的に調査・評価すべき
・法律だけを基準にするのではなく、地域の生活環境や住民が大切にしているもの、安心・安全まで考える必要がある

Looop 回答
・周辺環境に配慮した計画であるべきと理解している
・大切に思っているものがチョウセンアカシジミなのか、またそれ以外のものなのか多数あると思う

住民意見
・多数ある

Looop 回答
・すべての意見・要望に配慮することは難しいと理解している。そのため一つの基準として、県および町が定めた、区域や法令存在がしているものと理解している
・まずは法令等に則って進めさせていただいているという状況である

住民意見
・自分たちの意見は聞き入れては貰えないのか

Looop 回答
・まずは条例に即した形で判断をしている
・その上で町・岩手県との協議、近隣住民協議の上、本当に必要である調査と判断させていただいた場合は、実施する可能性はある

Looop 回答
・トネリコ木は何本か点在している為伐採する前に木の確認をする
・卵・幼虫がついてたとという場合は伐採しない、伐採することができない

・グリーンベルトを設置する
・事前に確認したものを近くのグリーンベルトへ移植する等の保護処置調整をしていく
・現状は許可の見込みが全くたっていない状況であるので、工事の計画へ進める段階ではないと判断している
・産卵の時期等の工事は避けるべきということは理解している。
・トリネコは現地確認済みであるので、許可が取れ着手となった際は最初に保護処置調整を行うと回答文に記載している

住民意見
・質問・回答に記載された河川名に誤りがある、正しい河川名は黒沢川
・別紙の水路についても記載に誤りがある。中黒沢川とされている水路には接続していない
・実際に現地確認をしているのか
・こちらの質問も間違えているが回答も間違えている
・本来確認したかったことは黒沢川への影響について

Looop 回答
・質問内容は表記が間違っていたということで、こちらでも理解している
・説明文で中黒沢川と黒沢川が何回も出て、分かりづらくなっていたかと思うが、本事業の雨水の放流はすべて黒沢川である、という認識は間違ない
・中黒沢川の表記について確認して訂正します

住民意見
・中黒沢という川はない　表記が間違ってる

住民意見
・黒沢川周辺の農地・土地所有者へも説明するべきではないか
・説明対象地域を陽和郷・小岩井・八区に限定されている理由を確認したい。
・排水の周辺農地への影響が心配

Looop 回答
・造成設計について、盛土規制法と林地開発の許可基準でこの二つの許可を取らなければならない事業となっている
・その中で流域を調査、河川に対する負荷を計算する公式基準がある
・開発地 6ha の開発については計算上、調整池を作らなくていいという計算結果になる
・計画地の上流から、水が来るところではなく、この場所単体という形になり計算上は調整池が不要という計算結果になった

・しかし、万が一大雨などが降った時に、下流の方に、ここが何の対策をしていないので水が増えたという指摘を避けるため、今回の設計では、通常は付けないが、調整池を付けて雨水排水をするという形にした
・下流については、基準上はなかったので開発設計の方で考えておりませんでした

Looop 回答
3 区になった経緯は対象地区として町の方から指定されたため

町民課
・事業の相談受けた時点では、国、環境省が示したガイドラインに計画値から 300m という距離の基準がある為 3 行政区という案内をした
・要望があれば、ぜひ加えていただきたいことは企業者様にお願いをしたい

Looop 回答
・町民課様からの提案については、真摯に受け止めて検討する

住民意見
・下流に住む住民から、生活用水や飲料水として井戸水・地下水を利用しているため、黒沢川上流での工事による影響を心配している、有害物質などが地下水に影響する可能性について強い不安がある
・実際に健康被害が確認されなくてももしかしたら影響があるのではという不安が長く続き、精神的な苦痛につながる可能性がある為、何としても計画を止めてほしい
・地下水への影響を徹底的に事前調査してほしい

Looop 回答
・黒澤川下流の方の意見として受け止めさせていただく

住民意見
・説明会の対象を広げてほしい

Looop 回答
・説明対象について、度々意見をいただいているので真摯に受け止めさせていただきます

住民意見
・不安を抱える住民に対して、追加説明の機会を設けてほしい
・事業者が追加説明を拒否する場合、経済産業省から事業者への指導を求めることができる

Looop 回答
・承知いたしました
・黒澤川の放流に伴う有害物資の件について、説明の回答の中にもありました通り、使用する太陽光設備に関して有害な物質が限りなく少ないというと回答させていただいています

住民意見
・太陽光パネルに含まれる有害物質についてパネル 1 枚あたりの成分量を具体的に何が含まれているのか数値も含めて説明してほしい

Looop 回答
・三ページ目に記載をさせていただいいる
・規制対象物質の許容正常範囲が 1 キロ当たり最大で 0.1g までと定められており、その成分を使用するパネルでは全て基準を下回っているという形になっている
・メーカーから言われている、物質としましては、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、特定臭素系離燃剤、フタル酸エステル類、これらが 1kg あたりに対して 0.1g 以下となる

住民意見
・一枚何キロか

Looop 回答
・太陽光パネル一枚当たり、32.5 キロ、6000 枚で 195000 キロとなる

住民意見
・それは、絶対有害ではない、人に影響はないと言い切れるのか

Looop 回答
・数字については、文面でご説明したＪＩＳ規格に基づく基準
・国によって基準を満たされていると判断されている製品になる

住民意見
・太陽光パネルが破損した場合 1 枚、2〜3 枚だけでなく、数千枚規模で複数のパネルが破損した場合に、どの程度の物質が流出する可能性があるのかを数値で確認したい
・想定される流出量に対して、設置予定の貯水槽で十分に受け止めることができるのか

Looop 回答
・貯水槽について、一時的に貯める施設で流れたものはその後、量を調整しながら放流をするものになる
・貯水槽は有害物質等を抑える施設ではない
・枚数、天候、状況によっても、変化するので、どれほどの成分が流れるかについては正直わからない
・ただし万が一、当施設に起因する影響で水害等が客観的認められた場合には、対処する

住民意見
・水質検査はするのか

Looop 回答
・実施しない

住民意見
・なぜしないのか

Looop 回答
・ただ単に貯める施設なので、そこに対しての検査はません
・万が一壊れた場合、放置された時間、枚数によって状況が変わると思うので、一概にするともしないともお答えは出来かねる
・影響が多岐にわたるようであれば、自主的に検査をすることもあると思う

住民意見
・何枚で実施するっていう計画はあるのか

Looop 回答
・現状では計画はない、これまでの発電所でもそういった計画はない

住民意見
・計画がないのは不安が消えない、安全管理マニュアルとして導入しないのか

Looop 回答
・起きた場合にも早期の回収撤去、回収交換をするという体制を整えている。この管理体制を踏まえて自主管理体制の中に盛り込まれていない

住民意見
・長期にわたり放置した場合と記載があるが、長期とはどのくらいか

Looop 回答
・具体的な年数はわかりませんが

住民意見
・数年なのか
・定期メンテナンスはしないのか

Looop 回答
・定期メンテナンスの回数について、最低年 2 回ある
・パワーコンディショナーの遠隔監視装置がある
・パワーコンディショナーごとに異常を検知すると知らせる仕組みになっている
・ショートが起きた、パネル破損によって著しく発電量が低下したということがわかる為、事業者側としては発電量の異常を検知したということで現地に向かう
・それは先ほどの 2 回とは別に駆けつける

住民意見
・装置についてもう一度詳しく説明してほしい

Looop 回答
・遠隔監視システムが異常を検知する基準という意味合いでよろしいか

住民意見
・遠隔監視システムの詳細な仕様が知りたい

Looop 回答
・採用を予定している監視装置の仕様と異常検知までの流れ等について、ご報告できるようにします

住民意見
・わからないということであれば質問がすべて保留状態となる

住民意見
・パネルの架台には防腐剤や防錆処理剤処理はするか

Looop 回答
・当社では塩害地域に該当する場合、防錆処理をするが、それ以外はしない架台を採用している
・当該地は塩害地域に該当しないので、今回はしない

住民意見
・太陽光発電は山奥などの人の生活圏から離れた場所というイメージだった
・パネルの周囲の田や畑で有機農業に取り組んでいる人に対して、工事や発電設備による人体への影響がないのか

Looop 回答
・造成設計の観点からですと、外周に現状林をそのまま幅 30m で外周を残す
・外から見た時にソーラーが一気に見えるというような形にはせず、緩衝帯という形で周りを残す
・開発地からの水が農地の方に流れると、問題が発生するので、事業地内側の方に法面を作って水が外に流れない対策をしてます
・調整池の方に全部集まるように、そしてそれが管理外へ流れないようにという管理はすべてしてる

住民意見
・ソーラーパネルを設置すると振動・騒音などが発生する可能性がある周辺で農作業をする人や農地への影響について

Looop 回答
・これまで我々も数多くの発電所の建設を行わせていただいている
・街中や田畑に囲まれた場所の経験あるが、現時点のところでは影響が出たという報告は受けてない
・もちろん工事期間中に杭を打ち込んだり、重機が動いたり、というところで音や振動という部分では影響が出てしまうことは間違いないかと思います
・発電所稼働後に関しては、音や振動という影響は少ないと言うふうに考えている

住民意見
・振動はあるということか

Looop 回答
・工事期間中はある

住民意見
・発電が始まったら振動しないということか

Looop 回答
・そのように聞いております

住民意見
・防災施設として調整池を現地に残す計画について、隣接する森林の木の根が調整池のひび割れなどに入り込むことで、破損し漏水によって周辺地盤が緩み、強風や大雪による樹木の倒木や、パネルへの倒木につながる可能性も確認したい
・調整池に雨水などが長期間たまることで、蚊などの害虫や悪臭が発生しないか。動物が転落した場合の水質悪化や衛生面への影響
・調整池の不具合や水質・悪臭などによって、隣接する田畑で農作業をする人や下流の住民に影響が出ないか

住民意見
・森林の草木や土砂によって調整池が覆われると、内部の空洞や段差が見えなくなり、落とし穴のような危険箇所が生じる可能性がある
・そこへ近隣住民や子ども、森林を管理する人などが気づかず転落事故に繋がった事例が実際にあり心配している
・調整池に水や生物などが滞留することで、悪臭や害虫、衛生上の問題が発生する可能性と周辺だけでなく川を通じて下流地域にも影響する可能性を心配している

Looop 回答
・調整池の件、今回は将来的に自然に復旧するということもあり、コンクリートでは作っていない
・土の堤防にしており高さは約 1.40m が最大の高さとなる
・ここには通常は水が溜まらない設計をしている
・水が溜まると、動物が落ちたり、虫が落ちたり汚い水になるので、水は普段絶対溜めないような構造にしている
・雨が降った際に一時的に水が溜まり、溜まったのが調整されて外に流れる構造としている
・中の部分については水が浸透しないシートを開発段階では設置している
・最終的に事業が終わった際にはシートは徐々に無くして、最後には自然、全部緑化する

・自然に帰る調整池を計画している

住民意見
・事業終了後も含め、最終的な管理責任や費用負担を事業者側が担うことを明確にしてほしい
・管理責任が自治体や住民に移らないよう、協定書や覚書などの正式な文書で管理責任・費用負担を明確にしてほしい

Looop 回答
・一般的な管理責任については、土地の所有者が管理責任を負うことになる
・協定書等を結んだときに、最終的には合意という形で出るが、今の段階ではまだそこまではいっていない

住民意見
・計画案をホームページに掲載したことをもって事前周知としていますが、町民の何%が実際にそのページを閲覧したか、確認・調査しているか

Looop 回答
・ホームページは雫石町の管理になるのでしていない

住民意見
・掲載だけで町民に周知できたとおもったのか

Looop 回答
・雫石町様の方で公表していただいた

住民意見
・雫石町が掲げるブランドイメージや自然環境を大切にする考え方を踏まえると、今回の太陽光パネル計画には反対する

Looop 回答
・地域の皆さまからの、雫石町民の方々からのご意見として承りました

住民意見
・最近この計画を知った住民もいるため事業がどのような経緯で計画されるようになったのか再度説明してほしい

・土地所有者の会社がどのような事業をしているのか、もともとの事業とは別に今回メガソーラー事業を始めることになったのか。

Looop 回答
・土地の所有者は山愛緑化様になります

Looop 回答
・本業は造園業となり、今は土木と林業となっている
・今回はここ以外にも、社有地が 200ha 近くある
・その中で、今までは伐採した後は植林、針葉樹林等をしてたが、造園に使う樹木、植木になるようなものをそこから生産して販売するということをもやっていた
・従来の事業の他にも、太陽光の事業を一緒に連携してやっていきたい
・確かに昨今、批判が非常にある事業にはなるが今回は自然になるべく配慮した形でできないか連携をして模索してというところ

住民意見
・他の地域でもソーラー事業をしているのか

Looop 回答
・実際稼働しているところは五箇所ほどある
・低圧で、小規模なのについては、7〜8 箇所ほどある

住民意見
・地権者から太陽光発電事業について打診があったことがきっかけで話が進んでいるのか

Looop 回答
・低圧から始まっている
・他県で事業をやってた付き合いで事業として行うと

住民意見
・現在計画地は更地なのか

Looop 回答
・計画地に建物は無く土地のみとなっている
・前所有者さんから、お付き合いがあり譲っていただいた
・長く管理してきた土地なので、大事にしたいという気持ちもあり今回、伐採といってもで

きる移植するものは移植する予定でいる
・南側の土地や滝沢、小岩井さんの隣、近隣にも何箇所か加植所があるのでそのような形で
・取得した当時はまだそこまで木が大きくなかったが、択伐等しながら今のような景観になっているというところ

住民意見
・取得したのは最近なのか

Looop 回答
・取得は平成 28 年

住民意見
・元々は何か他の活用しようという思いで取得したのか

Looop 回答
・当時はそういう思いは無かったが、前所有者さんの時代は何かあった様
・今回は、具体的には言えないがお願いされ買ったということ

Looop 回答
・今回の計画の事業主・発電事業者はループになる
・事業を行うのはループ、山愛緑化様の立ち位置としては土地の所有者

住民意見
・地域住民も計画地周辺の山や景観、自然を大切に感じている
・地権者の自然を大切にするという理念と、今回の森林・土地を開発して太陽光パネルを設置する計画がどのように両立するのか

Looop 回答
・森林の希少性は非常に高いということは、重々承知はしているところはあるが今、新たな事業を、やって行きたいという思いがある
・他にも人工造林は、持ってるが今回ここの地形は条件が非常に良かった
・環境が変わらないということはないが、南側に同じように伐採して 5、6 年経つ場所があり今回稀少性のある樹木はそちらへ引っ越しさせよう等、考えている
・ソーラーが主体に完全にならないような形で、緑地帯を確保している
・なるべく自然を残すところも考えながら今進めている
・貴重な蝶も居るので、どういう形にすべきか一緒に考えてもらえたらという思い

住民意見
・事業を中止したことで地権者が困ることになった場合には、何らかの協力をしたいという意向はある
・クラウドファンディングなど、現在はさまざまな方法があるため新しいアイデアを考えたり、協力したりできる
・困ったときやアイデアが必要なときには声をかけてほしい

住民意見
・事業を継続することで地域から寄せられている思いや、今後の山愛緑化への信頼に影響する可能性について地権者としてどのように感じているか

Looop 回答
・経済性及び環境保全の両立が出来る土地と考えている
・地形的にも管理がしやすく良い土地と考えている

住民意見
・水は基本的に下流へ流れるため、計画地の近くに川があることで下流地域への影響を心配している
・万が一の可能性がある以上、「絶対に汚れない」とは言えない

Looop 回答
・絶対はないと私もそれは思う所
・実際、倒木も可能性としては全然ゼロではない

住民意見
・太陽光発電そのものには反対ではない SDGs の観点からも、太陽光発電自体は良いものだと考えている
・設置によって自然破壊が伴う場合は違うのかもしれない
・農業や観光で生計を立てている人への影響があるのではないか
・山の中でも景観への影響が少なく、生活圏から離れた場所など環境への影響を抑えられる場所を選ぶと農業・観光・景観への影響も最小限にできるのではないか
・住民から反対や不安の声が多く出ている状況を、長野のときと同じように真摯に受け止めるのであれば、今回の計画を白紙に戻すことも考えているのか

Looop 回答
・白紙撤回はゼロでは無い
・長野は水源の問題で、環境アセスに該当し調査をしている中で、どうしても懸念点を払拭できず、中止判断をしたが今回の事業が同じ状況かと言われると、そうではないというところも理解をいただきたい
・過去 2 件中止したから今回もという判断は難しい
・あくまでも本事業において、やるべきではないといと事業者が判断した場合中止はありえる
・本日の意見回答もあるが、まだ中止・白紙撤回を判断するという状況では現時点ではない

住民意見
・農業・観光業へのさまざまな影響が想定される中で、それらを踏まえても事業を進めたいという考えなのか

Looop 回答
・これまでの事業の経験を踏まえて、同じような条件や環境でやっているケースもある
・一概に市街地で田畑があるという条件だけで今判断することはない
・過去の事例も含めて考えていきたいと思う

住民意見
・もっと広く意見を聞くということが大事だと思うので、改めて説明会を町全体に出して開催してもらいたい

住民意見
・今回設置予定のパネル太陽光パネルに耐久性を高めるためのフッ素樹脂や有機フッ素化合物が使用されているのか確認したい

Looop 回答
・フッ素樹脂があるか確認をとったわけでは無いので、一度確認して間違いないように報告します

住民意見
・大事なので確認してほしい

Looop 回答
・フッ素樹脂について、確認します

住民意見
・パネルの型番から調べたところパネルは中国製である、クリーンな純国産エネルギーという表現は設備・パネルの製造国という意味では誤解を招くのではないか

Looop 回答
・中国製の製品を使っているので、国産パネルではないのではないかという意見もいただくが中国製のパネルがこの発電所に占める全体のコストの割合としては、約 15 パーセント未満となっている
・パネル以外の架台やケーブやその他の施工に係る人件費等々はあくまでも国内で消費をしているので、その部分では国産のエネルギーに寄与しているというふうに、我々も考えている

住民意見
・外国製パネル・機器を使用することによるサイバーセキュリティへの懸念があるがサイバー攻撃や不正アクセスのリスクがないのか
・パワーコンディショナーや遠隔監視・管理システムがネットワークに接続される場合、外部から不正に操作されたり、発電設備に影響を与えたりする可能性について

Looop 回答
・昨今この業界でも非常にホットな話題で JC スター制度という新たな制度に起因する部分かと思う
・サイバーセキュリティに対応できる機器を国が認定をして、来年 4 月以降はその認定を受けた機器でなければ稼働することができないというルールが定められている
・今回採用を考えているパワーコンディショナーはパネルに通信機器はない、JC スター制度の認定を取る予定のものを採用する予定である

住民意見
・遠隔管理システムもか

Looop 回答
・はい

住民意見
・国産を信頼している気持ちが強い
・従来型の太陽光パネルではなくペロブスカイト太陽電池の普及を進めている中で、今回の計画についても、従来型の太陽光パネルからペロブスカイト太陽電池へ変更することを検討する考えはあるか

Looop 回答
・ペロブスカイト太陽電池に関して、次世代技術で非常に有望であるということは理解している
・当社でも注目している商材ではが、現時点で大規模な社会インフラとしてはまだ長期耐久性や供給体制が実証段階にも至っていないというのが現実である
・本計画では、長年の運用実績がある JIS 規格等に厳格な安全基準、対候性が担保されたパネルを使用するという判断をした

住民意見
・わかりました

住民意見
・約 6,000 枚という大量のパネルが、将来的に廃棄物になることを懸念している
・大量の廃棄物を、地球環境全体の問題としてどう考えているのかを問いたい

Looop 回答
・太陽光パネルが、事業終了後にゴミになるのではないかという事ですが現時点ですべてゴミになることはない
・すでにパネルの内部で再利用可能なもの、いわゆるリサイクル可能なものはすでに取り出して再利用がされている
・できる限りリサイクルできる物部品はリサイクルをし、それ以外は適正に処理をするというところまで含めた撤去
・可能な限りリサイクル対応していくので全てがゴミになるわけではない

住民意見
・チョウセンアカシジミの専門家・詳しい団体の名前が知りたい

Looop 回答
・工事着手前の調査ということか

住民意見
・調査して欲しいが誰に聞いてるのか、誰に聞くのか決めてるのか

Looop 回答
・社内に樹木医がいる
・知見のある方がもしいるのであれば、推薦もしてほしい

住民意見
・チョウセンアカシジミの専門家に協力してもらってほしい

住民意見
・建設用地の下流の吐出工を把握しているか

Looop 回答
・下流の全部の吐出工というものについては、今現在全部把握はしてない

住民意見
・把握していないのか

Looop 回答
・林地開発の設計基準で、今回のところは下流まで調べなくてもいいという計算結果になっていた為詳しい調査というのは下流まではしてないという状況

住民意見
・下流というのはどこまでか

Looop 回答
・下流は計算で何 ha まで調べるという計算がありその計算の中で、直近から下は調べなくても良いという形になる

住民意見
・この面積ではということか

Looop 回答
・勝手に決めたわけではなく場所によって計算結果は変わり、県の基準に則った設計をしている

住民意見
・もし、工事中に大雨が降り土砂が流入しても関係ないということか
Looop 回答
・関係ないというわけではない
・林地開発の基準で工事中についても、最初に土砂流出防止の沈砂池等の検査を受けてからでなければ本体工事に行けないという基準がある
・基本的に泥水を下流に流すという設計はしていない
・万が一、大雨時は対策するが、それでも流れた場合は何かの補償は発生するものだと思っている

住民意見
・工事中になると、泥を流すところもある

Looop 回答
・下流に泥水が流れてきて綺麗な水のところへ泥水が流れるとすぐ分かりますので、県の方から行政指導が来るので基本そういう工事をしないように設計します

住民意見
・集落の一番外れで取水している
・何かあった場合、自分たちで復旧しろということか

Looop 回答
・そういうことではない

住民意見
・何かあった場合早く対応してほしい

Looop 回答
・万が一何か発生した際は、大至急対応する

住民意見
・大至急とはどのぐらいか

Looop 回答
・大至急とは直ぐではないのか

・直ちに対応しないと下流に被害がある
・例えば、道路等で大雨が降り亀裂が発生した場合、大至急応急措置をいたしますので、それと同じペースで対応を行うものと考えている
・この対応を行わないと更に被害が拡大し、被害を最小限に抑えるために応急措置を行い、整理対応をするのが通常の施工になる
・大前提としてそうならないように、計算をして工事を行う

住民意見
・いつのデータを使用しているのか

Looop 回答
・県の指針に則っている
・毎年更新しており、今年新しく更新されているので新しいもので再計算している

住民意見
・最近はゲリラ豪雨や雹などの気候変動もある

Looop 回答
・それに合わせて県の指針も更新されてる

住民意見
・未来の気候変動はわかるか

Looop 回答
・今年の 6 月に新しく降雨強度は県の方で上げており、それを使用し再計算して新しく直している
・最新でないと許可も取れない為、昔の指針を使う事はない

住民意見
・県の指針であっても不安である
・自分たちの実体験では用水路をさわられるのも不安である

Looop 回答
・先ほども話したが計画地は上流から水が来る地形ではないので、ここに降った水はここにしか入って来ない

住民意見
・どうやってわかるのか

Looop 回答
・測量をしている

住民意見
・測量をしたらわかるのか

Looop 回答
・横断図も全てある為分かります

住民意見
・私が代わりに説明したい

住民意見
・これはどういう矢印か

Looop 回答
・雨水の流れを表したものになります

住民意見
・ではピンクの部分は何の部分か

Looop 回答
・ピンクの着色はパネル設置を行う場所です

住民意見
・この面積はどのぐらいか

Looop 回答
・4.5ha です

住民意見
・説明書文言に地球温暖化防止と活字で書かれているがこれはもう古い、気候変動だと思う

Looop 回答
・字の表現が古いということですか

住民意見
・古くはないが地球温暖化という言葉はもう使われていない、新聞でも気候変動と言っている

Looop 回答
・資料の表記を修正します

住民意見
・今まで住んでいた場所で経験したことがない雨が降っていて気候変動の影響がある
・ここの面積はいくらといったか

Looop 回答
・4.5ha です

住民意見
・例えば 1 時間で 50mm の雨が降った場合、流れ込んで間に合うのか

Looop 回答
・間に合います

住民意見
・間に合いません
・計画地に 1 時間で 50mm の雨が降った場合間に合わずに溢れます

Looop 回答
・林地開発の降雨強度では 50mm ではなく、もっと高い 135mm10 分の降雨という形で計算をする
・この周辺だと、80mm を超えてしまうと、一帯で災害が起きる雨を想定している
・林地開発であればそれ以上の 135mm で計算を行う

住民意見
・50mm の雨は何センチか理解しているか

Looop 回答
・50mm ですと、5cm ですね

住民意見
・とにかくここで抑えることは出来るのか

Looop 回答
・抑えることが出来る形で計算を行っている
・林地開発の基準に則り計算を行っている

住民意見
・ここだけでは耐えられない、私も計算します
・ここだけでは耐えられないと思っている
・雫石消防署について訂正、消防関係、盛岡西消防署雫石分署となる

住民意見
・シートやコンクリートで水を集約させないと、ソーラーパネルはおけないのか

Looop 回答
・林地開発の工事時、最初にこの防災施設の検査をしこの検査が終わらなければ行えない
・これも許可を取り全部を造成して、そこで新たに最終検査という形になる

住民意見
・調整池でなにをするのか、集約して浄化するのか

Looop 回答
泥水等を集め、下流に影響のないようにするのが林地開発、盛土規制法になる

住民意見
・汚染物質等々浄化はするのか

Looop 回答
・これは浄化槽ではなくパネルからは汚染物質が出ないという前提です
・ただの水だけしか集まらないというものです

住民意見
・汚染物質が出ないのであればシートやコンクリートを使わず浸透でもいいのではないか

Looop 回答
・林地開発上、浸透はできない

Looop 回答
・更地のところに太陽光パネルを張るので、その場所の治水能力がゼロという考えになる為調整池を作らなければいけないとう考え方です

住民意見
・ソーラーパネルを設置しているところは必ずこの作りになっているのか

Looop 回答
・開発の規模に該当する発電所は必ず

住民意見
・面積が広いということか

Looop 回答
・様々な要件がり、それで変わりますが大きく言うとそうなります

Looop 回答
・本計画の計算上は、調整池不要という結果になる
・本計画が要因ではないが下流で何かあった際、必ず本事業が疑われる為、疑惑が出ないよう林地開発の基準に則り、調整池を設置する

住民意見
・浸透させず調整池へ溜め、川に放流するのか

Looop 回答
・そういう意味合いで作っている

住民意見
・それは絶対に無理

住民意見
・パネルの下の保水力はゼロか

Looop 回答
・パネルの下についてはある程度水が貯水するようにウッドチップを敷く
・保水力もあり、熱も出ないという形で今回はそのような対策を取っている

住民意見
・地盤は土か

Looop 回答
・そうです
・その上に、ウッドチップを入れるので、そこに徐々に草が入ってくる

住民意見
・ガチガチに整地するのか

Looop 回答
・ガチガチでは無い
・よく公園にある、子供でも歩けるようなふかふかな土というイメージです

住民意見
・雨降ったら、地表に出る分は理解した
・下に浸透して行き場のなくなったの水が上がる、間違いはないか

Looop 回答
・間違えては無いです

住民意見
・地下に入っていった水が保水できずに上がってくるという事でよいか

Looop 回答
・普通の雨は一気に地下に入るということはなく徐々に浸透する
・水が溜まるような構造を作っていると、徐々に浸透っする形になってくると思うがあんまり作られない
・今回の調整池も水がたまらない構造にしてたので、今回は考えてない

・ほとんどの勾配は、道路と同じ勾配で大体 1%から 2%という形
・若干はそこに水は溜まるがスポンジの様なイメージになると思う
・水が全部地下に浸透するというわけではない
住民意見
・全部ではなく一部はということか
・雨水として集まったものは 100%ではないと思われる

Looop 回答
・90%は表面を流れ、10%は地下に行くのではと指針に載っていますので、その指針をそのまま使用している

住民意見
・1 時間に 50mm のような大雨が降った場合、計算上の排水能力を超えて水があふれ出る

Looop 回答
・50mm より高い計算で行っている

住民意見
・実際はそうではない。経験上の話をしている

Looop 回答
・盛土規制法の基準、林地開発の基準があり、これ以外の基準は使えない
・その中の基準値でしか計算できない、50mm よりは多いということは、理解してほしい

住民意見
・計算上とか法令に則って計画をしているが、想定外の事が起きた場合、想定外でしたということで終わるのではないか

Looop 回答
・想定外だとは言ってない
・基本災害になるんですけども、その場合はそれ以上拡大しない様直ちに応急処置をするというのが、ここを管理している者の基準になってます
・放置すると、大災害という形になってしまいますので

住民意見
・放置することはないということは納得

Looop 回答
・土地所有者の維持管理に関して協定があります

住民意見
・現地で雨が降った時に 10%の水が浸透するのではないか

Looop 回答
・流出係数に基づいています

住民意見
・計算上ではそのようになるが、その水というのはどこに逃げるのか

Looop 回答
・そこに溜まるが最終的には調整池にながれる
・流出係数は、降雨のうち計算上すぐに流出する水の割合を示すもの
・残りの水は、地下への浸透や地表を伝って側溝へ流れるなど、複数の経路があると考えられる
・残りの水が地下浸透・表面流出にそれぞれ何%になるかは計算しておらず、算出する必要性も薄いものと考えている

住民意見
・実際に現地を確認したところ、法面から水がかなり湧き出している箇所があり水が染み出した跡も確認できる

Looop 回答
・現地の中の方が少し高くなっているので関連してるのではないかと思います
・現地で少し山になっているところがありますが、そこが平らになった際は、また水の流れは若干変わってくる可能性はあると思う

住民意見
・木を伐採した後の根は自然腐敗か

Looop 回答
・ピンクと水色の着色分内の根は全て取ります

住民意見
・北側すぐ横に用水路がありどこに流れるか確認済みか

Looop 回答
・今回は用水路に流さないので、用水路の下流までは調べていません

住民意見
・集めた水が、必ず貯水槽に行く根拠はるのか

Looop 回答
・高さ的に全部調整池へ行くように設計してます

住民意見
・脇に染みていくことはないのか

Looop 回答
・水が流れるように造成設計を行っています、大体 1%の勾配になっています

住民意見
・主な根は取れるが、毛細は残るのでは

Looop 回答
・毛細まで取るという基準は今のところ無い為毛細は残ると思う
・土木工事は太い根は必ず取らないといけない
・大体 1%の勾配が付きます、これは駐車場の勾配と同じくらい

住民意見
・第 3 回はこれまでの説明会の続きという位置づけであっても、3 行政区だけを対象に限定しないでほしい
・参加した町民が、自由に質問できる場にしてほしい

Looop 回答
・町と協議いたします

住民意見
・行政が要望してほしい

Looop 回答
・町は町全体を指定という決定でよろしいでしょうか
町民課
・結構です

住民意見
・皆が分かりやすい、中央の公民館等の施設、参加しやすい時間にしてほしい

Looop 回答
・前回と同様に質問内容をまとめていただくか、こちらの議事録で調査を進めるか、どちらの形がいいか

住民意見
・質疑についてその場でやり取りする形を望みたい

Looop 回答
・回答書を元にして、質疑応答をしていく形でいいか

住民意見
・新しい意見が出てきた場合、その時には持ち帰っていただいて、返答をしてほしい

住民意見
・事前の防止策を取るのは正しい
・事前の防止策が効いているのか確認するために定期的に検査するべき
・モニタリングや事後的な検査を行わないという今回の回答では、住民は納得できない

住民意見
・事業者の姿勢があらわれている

住民意見
・事前の防止策は大事である
・事前の防止策によって、本当に問題を防げているのかわからない

住民意見
・24 時間監視は機械での遠隔操作

住民意見
・納得のいく回答ではなかった
Looop 回答
・納得いただけていないということを、承りました

住民意見
・納得が出来ない

町民課
・令和 6 年 3 月 28 日に、太陽光発電に対する問い合わせをいただいてその際にエネルギー条例について、ご案内させていただいた
・以降は令和 8 年 4 月 17 日までの間は、各事前相談等が進められ、出された届出内容を確認し、不備等は見受けられない為、届出書の受付処理を行った
・これを以て町が事業を認可したわけではないので、誤解しないでほしい
・なぜ話があったときに直ぐ公表しないのかというご意見があるが事業者においても事業計画が決定していないなかで、町が情報としてアナウンスした際に、届出の内容と相違が生じるケースがある為
・混乱を招く予想がされるため、届出を受理した後に公表という形をとった
・その後の住民説明会という流れになる
・事業者から出された日程スケジュールは計画段階のもとのいう認識なので、当然その地域の方々との合意形成、これは住民説明会の状況によっては計画とはずれるものと認識はある
・住民の皆さんと話し合っていることが、まとまらなければ、事業は進まない、進めれないということは、頭の中に置いてていただきたい
・町で届出書を精査する中で先ほど話は出ていますけど、計画地は抑制地域となっており事業者に対しては抑制を求める、協力を求める区域になっています
・当然土地所有者さんには民法に定められた使用権、収益権、処分権という権利を持っています
・権利侵害してしまう場所ではないわけではないので、そこを担保した形という考えかたに基づくものです
・計画地は森林法第 5 条第 2 項第 1 号に規定する、地域森林計画に該当し先程からお願いしている、協力をお願いします、抑制の協力をお願いします、こういう地域になっていますがこれは事業者さんでもご理解いただいております
・事業を抑制していただきたいというご協力、町の方からお話しました
・事業抑制の協力をお願いするという所も含めてですが、この事業計画を進める時に、この事業計画自体が大規模なので、丁寧に一段一段慎重に進めていただきたいとお話をしま

した
・計画地、地域森林計画の対象区域であるというところで、この地域で開発するためには、岩手県林地開発許可制度があり、森林に基づく岩手県林地開発許可申請が必要になってきます
・その申請書類を準備するにあたっては、開発予定が所在する市町村長及び当該開発行為により、直接影響を受けると見込まれる、市町村長との公害防止等を内容とする協定を締結した開発協定書、公害防止協定の写しの添付が必要
・町条例、再エネ条例の中に事業届出書の手続きについては事業計画の初期段階、つまり法令に基づく認定許認可の申請又は届出の手続きを行う前、設置しようとする土地の取得又は賃貸契約前、その他設置に係る申請及び契約の前、これに届出をしてくださいという、お話をしています
・小さな話かもしれませんが、事業者から、本町の公共物使用条例に基づく許可申請、排水放流等の許可申請を既に取得しており話が違うのではないか

Looop 回答
・林地開発を取得する為には必要な書類となるため、取得をしておりました
・これを実行する為には林地開発及び盛土規制法の許可が必要になる
・許可書をもって工事をするということではありません

町民課
・工事をしなくてもルールとして町から説明させていただき、このように進めてくださいと順を追って説明しているはず
・勝手な解釈でそういうふうに進められたと凄く感じられた
・信用信頼が無ければ町づくりはできない
・信用信頼出来ない状況で、今日の話の中からはこの状態であれば合意形成がなされているとは見えない
・先程お話をさせていただいた、町との協定、これについては協定を結ぶ意思はない
・猿子町長とも確認をさせていただいている
・バランスが取れていない事には町としても、認めるとは言えない
・町として意思表示はさせていただく

住民意見
・雫石町に意見書を提出し、町民 499 名の署名を集めて提出した
・第 3 回の協議・説明の機会があるなら、住民側も誠意をもって対応するので、町・事業者側にも誠実な対応をしてほしい